



「こころの花」
ほいくえん

- 子ども達の「こころの花」を咲かせます -

学校法人菊地学園



学校法人菊地学園 理事長 菊地 政隆

<理事長プロフィール>

男性保育士としてTBS「情熱大陸」に出演。保育士を9年、保育園園長を10年、幼稚園園長を2年経験し現職。学校法人菊地学園理事長、東北福祉大学非常勤講師、静岡第一テレビ歌のお兄さん。

園歌 「こころの花」

あなたのこころにさくはなは きっと やさしいはなだろう

だれにもまけない やさしいこころ

それはたくさんのひとを やさしくする

そんなあなたがいて よかった

作詞 菊地 政隆

保育園は育ちあいの場です。目に見えない子どもの心を育てながら、先生も大きく成長してください。そんなみんなが成長できる「自ら考え実践できる保育」を私たちはしています。

仮称「こころの花」ほいくえん登戸 開園担当 岡田 春佳

保育って、子どもって面白い!!私がそんな風に思い始めたのは保育士になってしばらくしてからでした。最初は余裕がなく日々の仕事をこなすので精一杯な毎日。保育の仕事を嫌いになりかけたこともありましたが、しかし仕事にも慣れてきた頃、心に余裕が生まれると子どもとの関わりを心から楽しめるようになり、私の世界は劇的に変化をしました。

“見方が変われば保育も変わる”

子どもはよく「なんで?」と大人に聞きます。それはまだ知らないことが多くて、何にでも興味を示している証拠。時には無理難題を聞かれて困ることも多いはず。しかしここで見方を変えると、子どものなんで?に全て正確に答える必要はあるのか?という疑問にぶつかります。そうここがターニングポイント!なんで?と聞かれた時に「なんでだと思っ?」と聞き返してみるのです。すると子どもは一生懸命自分の頭で考えて大人が予想もしないおもしろい答えを導き出してきました。これこそが見方を変えた産物!こんな風に困るなど思っていたことがワクワクすることにあつという間に変わっていくのです!保育の中にはこんなことがゴロゴロ転がっています。保育がもっと楽しくなる秘訣はたくさんあってそこに気づくと保育は10倍も20倍も楽しくなります!そしてそのためには保育士の心が笑顔で元気であるということも欠かせないことです。それは私が保育士として働いてきて一番感じていたことです。「こころの花」ほいくえんでみんなのこころの花を咲かせて一緒に楽しく保育をしましょう!

令和2年4月開園のオープニングスタッフです。子どもも、保育士も大切にしていただけの方、一緒に園を作り上げていきませんか?ご応募お待ちしております!



仮称 「こころの花」ほいくえん登戸
神奈川県川崎市登戸3277-1
登戸駅 徒歩3分

学校法人菊地学園

所在地:埼玉県越谷市袋山631-3 TEL:048(977)8031

運営園:認定こども園しらこぼと幼稚園 ・ しらこぼと附属保育園大袋駅前

理事長親子法人:社会福祉法人東京児童協会

「こころの花」を咲かせるために私たちが大切にすること

自己肯定感の **土** を耕します

土台がしっかりしていないと元気な根をはることは出来ません。自分が愛されていることや、どんな自分も受け止めてくれる大人の存在を感じることはとても大切な事です。どんな時にもその子が今どんな気持ちなのかということを考え、受け止めていく中で、自己肯定感の基礎を培っていきます。自己肯定感を育むことで、何にでも“やってみよう”というこころの強さや、人の気持ちにも目を向けられる心の豊かさや思いやりも一緒に養われていきます。

好奇心の **水** をあげます

おいしい水を吸うことで、芽はぐんぐん伸びていきます。こどもの“やってみたい”がたくさん生まれるような環境や、経験を作ります。子どもが一番の楽しみである遊びに関しては、コーナー保育を取り入れ、子ども達が自由に遊びを選択し、満足するまで遊ぶことので十分に心が満たされます。そして心が満たされていると、色々な事への好奇心が芽生えていきます。“学びに向かっていく力”を遊びの中で自然と育てていきます。

太陽 のように温かいまなざしで見守ります

暖かな日差しを浴びて、つぼみは花を咲かせます。生きてると様々な感情に出会うこととなります。いい時もあれば、もちろん悪い時もあります。その時に保育者はその子どもの思いひとつひとつに寄り添い、子どもと一緒にその気持ちと向き合います。子ども達の目線に立ち、どんな世界を見ているのか、感じているのかということを保育士がぐみ取り、「～だったね」と応対的な関りの中で子どもの成長を見守ります。

「こころの花」ほいくえんの保育

法人理念

ここで過ごした子ども達全員が幸せになってほしい

それが私たちの願いです

子ども達の人生は卒園後も続いていきます。こころの花保育園で過ごしているこの時間も、卒園してそれぞれの道を歩いていく時間も、ここで育った子どもたちには幸せであって欲しいと願っています。

保育方針

自由の中の規律を意識し、自ら考え行動できる子どもを育てる

これからの未来を生き抜いていく子ども達に大切なことは、上手くいかない時に諦めずに「どうしてかな?」「こうしてみよう!」と目標を達成するまで頑張る姿勢(非認知能力)を身につけることです。最初から自分で判断し、最後まであきらめずに頑張れる子どもはいません。全ては自分が経験したことから培われていきます。成功した時の嬉しい気持ち、失敗した時の悲しい気持ち、喧嘩した時の悔しい気持ち、仲直りした時の優しい気持ち。一つひとつの心の動

保育目標

3つの「こころの花」を大切にします

子ども達にとっての幸せとはなんでしょうか。遊ぶこと、食べること、ゆっくり休むこと、安心できる場所があること、愛されていること…そしてそれを感じられる心があるということ。菊地学園は子ども達がこれから歩む人生が豊かになり、より多くの幸せを感じられるように「こころの花」を咲かせます。

「つよいこころ」

どんなことも“やってみよう”
と挑戦するつよい心を
育みます。

「やさしいこころ」

友だちを思いやる気持ちや、
困っている人に気づけるような
やさしい心を育みます。

「げんきなこころ」

遊びは子どもの一番の楽しみ
みです。自分の好きな事を見
つけ、夢中で遊びこめる
げんきな心を育みます。